

現場で高齢者虐待防止の取り組みを行う人材を養成する。

2. 看護職員研修

各施設等の看護職員を対象として、講義・演習を通じて、医療的な観点から高齢者虐待防止に関する実践的、専門的手法を習得し、高齢者虐待防止の取り組みを行う人材を養成する。

A 看護指導者養成研修 B 看護実務者研修

(3) 県負担・補助率の考え方

国庫 1/2 県費 1/2

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	22	業務旅費
需用費	25	消耗品費
役務費	52	郵便代、電話料
委託料	720	養介護施設職員研修
合計	819	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「岐阜県高齢者安心計画」 1 - 2 認知症対策の推進

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 介護職員が安全な医行為（喀痰吸引等）を実施できるための研修体制を整備するため、実地研修を実施できる指導看護師を養成する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R4)	達成率
① 権利擁護推進員研修の開催回数（累計）	0	5	6	7	7	85.8%
② 看護職員に対する研修の開催数（累計）	0	6	7	9	14	50.0%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2	<ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護推進員養成研修を13名が受講した。 ・看護指導者養成研修は受講希望者がいなかった。 ・看護実務者研修は新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>高齢社会を迎え、虐待件数は減少しておらず、県として研修を開催し、看護職、施設職員等、多職種の職員の資質向上を図る必要がある。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	<p>研修受講者のアンケート結果からは、好評であり学びが多いとの回答を得ている</p>
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 1	<p>実際の技術を学ぶ場でもあることから、集合形式を維持している。</p>

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 虐待事例が複雑化していることから、ケース検討等具体的な対応に踏み込んだプログラムとすることや、司法関係者の講演を取り入れる等、対応ニーズに応じて企画していくことが必要である</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 研修事業を継続実施し、講師会議等によるプログラムの検討及びよりニーズに応じたものに改訂していく。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	<p>【〇〇課】</p>
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	